



# 日本キリスト教団高田教会 月報

創立記念日 1891年7月6日 教会が生まれて今年で131年!

2022年度標語

「キリストを信じ、御心を聴き、共に祈る」

〒943-0838 新潟県上越市大手町5-4

電話 & F A X (025) 523-7009

牧師 成田 顕靖

教会ホームページ <http://uccj-takada.jimdo.com/>

教会メールアドレス [takada-hymn@oregano.ocn.ne.jp](mailto:takada-hymn@oregano.ocn.ne.jp)

---

2022年7(8)月 主日共同礼拝・分散礼拝式文

---

2022年7月 教会暦と主日聖書日課

7月3日(日) 聖霊降臨節第5主日 三位一体節第4主日

(詩 編)107編17～22節 ((旧) 948頁)

(旧約日課)アモス書 7章10～15節((旧)1438頁)

(使徒日課)使徒言行録 13章1～12節((新) 237頁)

(福音日課)マルコによる福音書 6章1～13節((新) 71頁)

7月10日(日) 聖霊降臨節第6主日 三位一体節第5主日

(詩 編)33編4～11節 ((旧) 863頁)

(旧約日課)エステル記 4章10節～5章8節((旧) 767頁)

(使徒日課)使徒言行録 13章13～25節((新) 238頁)

(福音日課)マルコによる福音書 6章14～29節((新) 71頁)

7月17日(日) 聖霊降臨節第7主日 三位一体節第6主日

(詩 編)52編3～9節 ((旧) 886頁)

(旧約日課)エレミヤ書 23章23～32節((旧)1221頁)

(使徒日課)ガラテヤの信徒への手紙 5章2～11節((新) 349頁)

(福音日課)マルコによる福音書 8章14～21節((新) 76頁)

7月24日(日) 聖霊降臨節第8主日 三位一体節第7主日

(詩 編)119編129～136節 ((旧) 965頁)

(旧約日課)列王記上 10章1～13節((旧) 546頁)

(使徒日課)テモテへの手紙一 3章14～16節((新) 386頁)

(福音日課)マルコによる福音書 8章22～26節((新) 77頁)

7月31日(日) 聖霊降臨節第9主日 三位一体節第8主日

(詩 編)18編26～35節 ((旧) 848頁)

(旧約日課)サムエル記上 17章38～50節((旧) 456頁)

(使徒日課)コリントの信徒への手紙二 6章1～10節((新) 331頁)

(福音日課)マルコによる福音書 9章14～29節((新) 78頁)

---

## 《 主日公同礼拝・分散礼拝 》

# 分散礼拝において一人で祈りをささげる場合は、司式・会衆の全文を一人で唱える。  
# 非公開礼拝期間中の会堂での主日礼拝では開式讃美・派遣(終りの)讃美を省略する。

## 黙 禱

# 会堂での主日公同礼拝では黙禱(前奏)の後に開式讃美を歌う。

## 懺悔と赦しの祈り

司式 神の御前に自らの身を低くし、自らを省み、共に罪の赦しを祈りましょう。  
一同 憐れみ深い父なる神よ、私たちは、してはならないことをし、しなければならないことをせず、思いと、言葉と、行いによって、多くの罪を犯しています。どうか罪深い私たちをお赦しください。新しい命に歩み、御心に従い、み栄えを現すことができますように。救い主イエス・キリストによってお願い致します。アーメン。

司式 主よ、私たちの口を開いて下さい。

会衆 私たちは、主の誉れを現します。

司式 父・子・聖霊の神にみ栄えあれ。

会衆 初めも今も、世々に限りなく、アーメン

司式 主をほめ讃えましょう。

会衆 主の御名を讃えます。

7月3日～31日は「詩編第95編」を詠います

8月7日～28日は「詩編第100編」を詠います

—— 7月3日～31日 ——

## 詩編第95編

司式 主に向かって喜び歌おう。救いの岩に向かって喜びの叫びをあげよう。

会衆 御前に進み、感謝をささげ、楽の音に合わせて喜びの叫びをあげよう。

司式 主は大いなる神。すべての神を超えて大いなる王。

会衆 深い地の底も御手の内にあり、山々の頂も主のもの。

司式 海も主のもの、それを造られたのは主。陸もまた、御手によって形づくられた。

会衆 わたしたちを造られた方、主の御前にひざまずこう。共にひれ伏し、伏し拝もう。

司式 主はわたしたちの神、わたしたちは主の民。

会衆 主に養われる群れ、御手の内にある羊。

司式 父・子・聖霊の神にみ栄えあれ。

会衆 初めも今も、世々に限りなく、アーメン

(日本聖書協会『聖書 新共同訳』より引用)

詩編第100編

司式 全地よ、主に向かつて喜びの叫びをあげよ。  
会衆 喜び祝い、主に仕え、喜び歌って御前に進み出よ。  
司式 知れ、主こそ神であると。  
会衆 主はわたしたちを造られた。  
司式 わたしたちは主のもの、その民、主に養われる羊の群れ。  
会衆 感謝の歌をうたって主の門に進み、賛美の歌をうたって主の庭に入れ。  
司式 感謝をささげ、御名をたたえよ。  
会衆 主は恵み深く、慈しみはとこしえに、主の眞実は代々に及ぶ。  
司式 父・子・聖霊の神にみ栄えあれ。  
会衆 初めも今も、世々に限りなく、アーメン

(日本聖書協会『聖書 新共同訳』より引用)

詩 編(頌栄付)

- #ここで主日聖書日課に定められた詩編を唱える。
- #会堂での主日公同礼拝では週報に記載の交読詩編を唱える。
- #家庭での分散礼拝において複数名で礼拝をする場合は、新共同訳聖書に記載の詩編を司式者と会衆で1節ずつ交互に唱える。詩編の終わりに頌栄を唱える。

司式 父・子・聖霊の神にみ栄えあれ。  
会衆 初めも今も、世々に限りなく、アーメン

旧約日課朗読

- #主日聖書日課に定められた旧約日課を朗読する。

—— 7月3日～31日 ——

ザカリアの讃歌（ルカによる福音書 1章68～79節）

司式 ほめたたえよ、イスラエルの神である主を。主はその民を訪れて解放し、  
会衆 我らのために救いの角を、僕ダビデの家から起こされた。  
司式 昔から聖なる預言者たちの口を通して語られたとおりに。それは我らの敵、すべて我  
らを憎む者の手からの救い。  
会衆 主は我らの先祖を憐れみ、その聖なる契約を覚えていてくださる。  
司式 これは我らの父アブラハムに立てられた救い。こうして我らは、敵の手から救われ、  
会衆 恐れなく主に仕える、生涯、主の御前に清く正しく。  
司式 幼子よ、お前はいと高き方の預言者と呼ばれる。主に先立って行き、その道を整え、  
会衆 主の民に罪の赦しによる救いを知らせるからである。  
司式 これは我らの神の憐れみの心による。この憐れみによって、高い所からあけぼのの光  
が我らを訪れ、  
会衆 暗闇と死の陰に座している者たちを照らし、我らの歩みを平和の道に導く。  
司式 父・子・聖霊の神にみ栄えあれ。  
会衆 初めも今も、世々に限りなく、アーメン

（日本聖書協会『聖書 新共同訳』より引用）

イザヤ第1の歌（イザヤ書 12章2～6節）

司式 見よ、わたしを救われる神。わたしは信頼して、恐れない。

会衆 主こそわたしの力、わたしの歌。わたしの救いとなってくださった。

司式 あなたたちは喜びのうちに、救いの泉から水を汲む。

会衆 その日には、あなたたちは言うであろう。「主に感謝し、御名を呼べ。諸国の民に御業を示し、気高い御名を告げ知らせよ。

司式 主にほめ歌をうたえ。主は威厳を示された。全世界にその御業を示せ。

会衆 シオンに住む者よ、叫び声をあげ、喜び歌え。イスラエルの聖なる方はあなたたちのただ中にいます大いなる方。」

司式 父・子・聖霊の神にみ栄えあれ。

会衆 初めも今も、世々に限りなく、アーメン

（日本聖書協会『聖書 新共同訳』より引用）

使徒日課朗読

# 主日聖書日課に定められた使徒日課を朗読する。

## 讚美の歌

司式 神よ、あなたを讚美し、主よ、あなたを讚える。

会衆 永遠の父よ、造られたものは皆あなたを讚える。

司式 み使いと天の力あるもの皆、主に向かい、ケルビムとセラフィムも絶え間なく讚美を歌う。

会衆 聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の神なる主、主の栄光は天地に満つ、と。

司式 栄光ある使徒の組、誉れある預言者の群れ、白い衣の殉教者の隊、主をほめ讚える。

会衆 世界に広がる聖なる教会もあなたをたたえる。尊厳限りない父を。

司式 あがむべきまことの独り子、執り成し主、導き主なる聖霊を。

会衆 キリストよ、あなたは栄光の王、永遠にいます神の御子。

司式 私たちに自由を与えるため、人となられた時、おとめの胎もいとわれなかった。

会衆 主は死の苦しみに勝ち、信じる者に天国の門を開かれた。

司式 主は栄光のうちに神の右に座し、審き主として来られることを信じる。

一同 主よ、来て、助けて下さい。尊い血で贖われたあなたの民を。聖徒たちと共に、永遠の栄光にあずからせて下さい。アーメン

## 福音日課朗読

# 主日聖書日課に定められた福音日課を朗読する。

説 教（※家庭での分散礼拝では5分程目を閉じ、呼吸を静かに整えて沈黙します）

## 信仰告白 使徒信条

一同 我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、処女マリヤより生れ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。

## 新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り

司式 慈しみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大によって、今、大きな困難の中にある世界を顧みて下さい。病に苦しむ人に必要な医療が施され、感染の終息に向けて取り組むすべての人、医療従事者、病者に寄り添う人の健康が守られますように。亡くなった人が永遠の御国に迎え入れられ、尽きることのない安らぎに満たされますように。不安と混乱に直面しているすべての人に、支援の手が差し伸べられますように。希望の源である神よ、私たちが感染拡大を防ぐための犠牲を惜しまず、世界のすべての人と助け合って、この危機を乗り越えることができるようお導き下さい。私たちの主イエス・キリストの御名によって祈ります。

会衆 アーメン

## 執り成しの祈り

司式 神よ、キリストの教会を強めて、御子の御業を行わせて下さい。すべての教職と信徒を導き、御名を呼ぶ者を主の真理と愛のうちに一致させ、日々主の栄光をこの世に現す者とならせて下さい。

神よ、すべての国の人々に知恵を与えて正義と平和の道に導いて下さい。互いに尊敬する心を与え、共にすべての人の幸いを求めさせて下さい。

神よ、私たちが家族、すべての友人と隣人に恵みを与え、共に主を知り、主に仕え、互いに愛することができるようにして下さい。

神よ、悩む人、悲しむ人、病気の人、貧しい人、その他災いの中にある人々を顧み、御力を与えて、勇気と希望を増し加え、主の救いの喜びに導いて下さい。

神よ、世を去ったすべての人を顧み、彼らの上に主の愛の御旨を成し遂げて下さい。私たちは、世々に主の証し人たちに与えられた主の恵みのゆえに、御名をたたえます。どうか、私たちが彼らとの交わりを保ち、共に御国の栄光に与らせて下さい。これらの祈りを御子イエス・キリストの御名によってお願い致します。

会衆 アーメン

## 献 金

#感謝と献身のしるしとして献金する。

#家庭での分散礼拝においては所定の主日礼拝献金袋に献金する。献金は各自保管し、後日にまとめて教会に持参する。

---

## 奉献の祈り

一同 恵み豊かな神よ。感謝と喜びをもって、今、この供え物をお献げいたします。また、あわせて、私たちの全身全霊をお献げいたします。どうか、私たちの日々の生活によって、天の父であるあなたがあがめられますように。主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

#会堂での主日公同礼拝で聖餐が執行される場合は9面に移る。

## 主の祈り

司式 主イエス・キリストが教えて下さった主の祈りを祈りましょう。  
一同 天にまします我らの父よ、願わくは御名をあがめさせたまえ。  
御国を来らせたまえ。みこころの天になるごとく地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかすものを 我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、悪より救い出されたまえ。  
国とちからと栄えとは 限りなく汝のものなればなり。アーメン。

## 祝 福

司式 願わくは主があなたを祝福し、あなたを守られるように。  
願わくは主が御顔をもってあなたを照らし、あなたを恵まれるように。  
願わくは主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を賜るように。  
父と子と聖霊の御名によって。

会衆 アーメン

#会堂での主日公同礼拝では祝福の後に派遣(終りの)讃美を歌う。

## 黙 禱



#会堂での主日共同礼拝で聖餐が執行される場合は以下の式文を用いる。

## 聖 餐

### スルスム・コルダ

司式 主は皆さんと共に。  
会衆 また、あなたと共に。  
司式 心を神に。  
会衆 主に心を献げます。  
司式 主なる神に感謝しましょう。  
会衆 感謝と賛美は私たちの務めです。

### 感謝聖別祷

司式 聖なる御心を成就し、私たちの救いを成し遂げるために、私たちの主イエス・キリストは苦しみを受ける前日、パンを取り（#パンを取る）、感謝し（#パンを奉持する）、これを裂き（#パンを裂く）、弟子たちに与えて言われました。「取って食べなさい。これはあなたがたのために与える私のからだである。私の記念のため、これを行いなさい」（#パンを置く）。  
食事の後、杯をも同じようにして言われました（#杯を奉持する）。「取って飲みなさい。これは罪の赦しのため、あなたがたと多くの人のために流す私の血における新しい契約である。私の記念のため、これを行いなさい」（#杯を置く）。  
主なる全能の神よ。キリストの苦しみと死と、栄光の復活と、昇天、また再臨の御約束を思い、あなたに感謝をささげます。私たちはあなたのみ前に立ち、御子の命じられた記念のわざを行います。  
父なる神よ。あなた御自身が聖霊によってこれらのパンとぶどう酒を聖別して下さい（#パンと杯の上で十字を切る）。これを受ける者が一つとなり、信仰を堅くし、御言と聖霊に満たされ、御子イエス・キリストによって、あなたを讃美するに至るよう導いて下さい。  
聖なる賜物を受ける私たちが、天の祝福と恵みに満たされ、罪の赦しを受け、体も心も清められ、主に喜ばれるすべての聖徒と共に、天の祝宴にあずかるに至るよう導いて下さい。  
すべての栄光と賛美が、教会において、キリストにより、聖霊と共におられるあなたに、世々限りなくありますように。

会衆 アーメン

## 主の祈り

司式 <sup>しゅ</sup>主イエス・キリストが<sup>おし</sup>教えて<sup>くだ</sup>下さった<sup>しゅ</sup>主の<sup>いの</sup>祈りを<sup>いの</sup>祈りましょう。  
一同 <sup>てん</sup>天に<sup>われ</sup>まします<sup>われ</sup>我らの<sup>ちち</sup>父よ、<sup>ねが</sup>願わくは<sup>み</sup>御名を<sup>な</sup>あがめ<sup>たまえ</sup>させたまえ。  
<sup>みくに</sup>御国を<sup>きた</sup>来<sup>てん</sup>させた<sup>ち</sup>たまえ。み<sup>てん</sup>こころの<sup>てん</sup>天になる<sup>ち</sup>ごとく<sup>ち</sup>地にも<sup>たまえ</sup>なさせたまえ。  
<sup>われ</sup>我らの<sup>にちよう</sup>日用の<sup>かて</sup>糧を、<sup>きよう</sup>今日も<sup>あた</sup>与<sup>たまえ</sup>え。  
<sup>われ</sup>我らに<sup>つみ</sup>罪をお<sup>われ</sup>かすものを <sup>われ</sup>我らが<sup>ゆる</sup>ゆるす<sup>ごとく</sup>ごとく、<sup>われ</sup>我らの<sup>つみ</sup>罪をも<sup>ゆる</sup>ゆるした<sup>たまえ</sup>たまえ。  
<sup>われ</sup>我らを<sup>こころ</sup>こころみに<sup>あわせ</sup>あわせず、<sup>あく</sup>悪より<sup>すく</sup>救い<sup>いだ</sup>出した<sup>たまえ</sup>たまえ。  
<sup>くに</sup>国と<sup>ち</sup>ちからと<sup>さか</sup>栄えとは <sup>かぎ</sup>限りなく<sup>なんじ</sup>汝のもの<sup>なれば</sup>なればなり。アーメン。

## 陪 餐

# 司式者は各々に次のように言い、陪餐者は「アーメン」と言って食する。

司式 あなたに<sup>えいせん</sup>永遠の<sup>いのち</sup>命を<sup>あた</sup>与<sup>しゅ</sup>える<sup>しゅ</sup>主イエス・キリストの<sup>からだ</sup>からだ。

陪餐者 アーメン

司式 あなたに<sup>つみ</sup>罪の<sup>ゆる</sup>赦しを<sup>あた</sup>与<sup>しゅ</sup>える<sup>しゅ</sup>主イエス・キリストの<sup>ち</sup>血。

陪餐者 アーメン

# 陪餐後、司式者は手を挙げて陪餐者を祝福する。

司式 <sup>わたし</sup>私たちの<sup>しゅ</sup>主イエス・キリストの<sup>からだ</sup>からだとその<sup>とうと</sup>貴い<sup>ち</sup>血とは、<sup>しんこう</sup>信仰によって、<sup>がた</sup>あなた方を<sup>つよ</sup>強め、<sup>まも</sup>守り、<sup>えいせん</sup>永遠の<sup>いのち</sup>命に<sup>いた</sup>至<sup>くだ</sup>らせて<sup>くだ</sup>下さいます。

会衆 アーメン

# 会衆は会衆席に戻り、着席する。

# 残ったパンとぶどう酒はその場で慎んで飲食してしまう。その後、祭具を片付け覆いを掛け、感謝の祈りを唱える。

## 感謝の祈り

司式 <sup>いの</sup>祈り<sup>しよう</sup>ましょう。  
<sup>ぜんのう</sup>全能の<sup>かみ</sup>神よ。私<sup>わたし</sup>たちを<sup>み</sup>御子<sup>こ</sup>イエス・キリストの<sup>からだ</sup>体と<sup>ち</sup>血によって<sup>やしな</sup>養<sup>くだ</sup>って<sup>くだ</sup>下さった<sup>こと</sup>ことを<sup>かんじや</sup>感謝<sup>いた</sup>します。あなた<sup>は</sup>は、これによって<sup>わたし</sup>私<sup>たち</sup>に対する<sup>あい</sup>愛と<sup>めぐ</sup>恵<sup>しめ</sup>みを<sup>わたし</sup>示<sup>わた</sup>し、私<sup>たち</sup>が<sup>からだ</sup>キリストの<sup>えだ</sup>体の<sup>えだ</sup>肢であり、<sup>みくに</sup>御国<sup>よ</sup>の<sup>よ</sup>世<sup>つぎ</sup>嗣<sup>たし</sup>である<sup>こと</sup>ことを<sup>たし</sup>確<sup>くだ</sup>かに<sup>いた</sup>して<sup>くだ</sup>下さいました。今、<sup>いま</sup>今、<sup>イエス</sup>イエス・キリストを<sup>とお</sup>通<sup>じぶん</sup>して、<sup>からだ</sup>自分の<sup>い</sup>体<sup>せい</sup>を生<sup>そな</sup>きた<sup>もの</sup>聖<sup>きさき</sup>なる<sup>きさき</sup>供<sup>え</sup>え物<sup>として</sup>として<sup>きさき</sup>献<sup>きさき</sup>げ<sup>ます</sup>ます。どうか、<sup>せいれい</sup>聖<sup>せい</sup>霊<sup>れい</sup>を<sup>そ</sup>注<sup>わたし</sup>いで<sup>よ</sup>私<sup>わたし</sup>たちを<sup>よ</sup>この<sup>つか</sup>世<sup>み</sup>に<sup>こころ</sup>遣<sup>かな</sup>わし、<sup>おこな</sup>御<sup>くだ</sup>心に<sup>くだ</sup>適<sup>くだ</sup>う<sup>くだ</sup>こと<sup>くだ</sup>を行<sup>くだ</sup>わ<sup>くだ</sup>せて<sup>くだ</sup>下さい。  
あなたと<sup>せいれい</sup>聖<sup>せい</sup>霊<sup>れい</sup>と<sup>とも</sup>共に<sup>かみ</sup>ただ<sup>えいせん</sup>ひとり<sup>い</sup>の<sup>おさ</sup>神<sup>み</sup>であり、<sup>こ</sup>永遠<sup>こ</sup>に<sup>い</sup>生<sup>おさ</sup>きて<sup>み</sup>治<sup>こ</sup>め<sup>こ</sup>られる<sup>こ</sup>御<sup>こ</sup>子<sup>こ</sup>イエス・キリスト<sup>こ</sup>によって<sup>いの</sup>祈<sup>い</sup>ります。

会衆 アーメン

---

祝 福

司式 ねが願わくはしゅ主があなたをしゅくふく祝福し、あなたをまも守られるように。  
ねが願わくはしゅ主がみかお御顔をもってあなたをて照らし、あなたをめぐ恵まれるように。  
ねが願わくはしゅ主がみかお御顔をあなたに向け、あなたにへいあん たまわ平安を賜るように。  
ちち こ父と子とせいれい聖霊のみな御名によって。

会衆 アーメン

#会堂での主日公同礼拝では祝福の後に派遣(終りの)讃美を歌う。

黙 禱

(参考資料 日本聖公会「朝の礼拝」『日本聖公会祈禱書』日本聖公会管区事務所、1991年 2020年4月3日日本カトリック司教協議会認可「新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り」カトリック中央協議会公式サイトより)

\* \* \* \* \*

●新型コロナウイルス感染拡大状況の悪化に鑑み、2021年6月号の月報より2ヶ月分の主日聖書日課・礼拝式文を掲載します。なお、月報は毎月発行致します。  
万一、礼拝堂での主日公同礼拝が不可能になった場合は、各家庭で月報掲載の礼拝式文を用いて主日礼拝をお守り下さい。

●新型コロナウイルス感染拡大の為、当分の間、蔓延防止等重点措置・緊急事態宣言が適用されている他都道府県在住または往来があった方は、1週間礼拝出席をお控え下さい。(2021年度第16回役員会決議)

\* \* \* \* \*

---

---

## 2022年8月 教会暦と主日聖書日課

8月7日(日) 聖霊降臨節第10主日 三位一体節第9主日 平和聖日

(詩 編)13編2～6節 ((旧) 844頁)

(旧約日課)民 数 記 11章24～29節((旧) 232頁)

(使徒日課)コリントの信徒への手紙一 12章14～26節((新) 316頁)

(福音日課)マルコによる福音書 9章33～41節((新) 79頁)

8月14日(日) 聖霊降臨節第11主日 三位一体節第10主日

(詩 編)94編8～15節 ((旧) 932頁)

(旧約日課)申 命 記 10章12節～11章1節((旧) 297頁)

(使徒日課)ヘブライ人への手紙 12章3～13節((新) 417頁)

(福音日課)マルコによる福音書 9章42～50節((新) 80頁)

8月21日(日) 聖霊降臨節第12主日 三位一体節第11主日

(詩 編)127編1節b～5節(「主御自身が」から)((旧) 971頁)

(旧約日課)イ ザ ヤ 書 54章1～8節((旧) 1150頁)

(使徒日課)エフェソの信徒への手紙 5章21節～6章4節((新) 358頁)

(福音日課)マルコによる福音書 10章13～16節((新) 81頁)

8月28日(日) 聖霊降臨節第13主日 三位一体節第12主日

(詩 編)8編2～10節 ((旧) 840頁)

(旧約日課)ミ カ 書 6章1～8節((旧) 1455頁)

(使徒日課)エフェソの信徒への手紙 4章17～32節((新) 356頁)

(福音日課)マルコによる福音書 10章46～52節((新) 83頁)

---

### 2022年7月～8月の小祝日・行事暦

7月13日(水) シラスの日

7月22日(金) マグダラのマリアの日

7月25日(月) 大ヤコブの日

8月6日(土) 主の変容日

8月15日(月) 聖母マリアの日 敗戦記念日

8月24日(水) バルトロマイの日